

- 11) 廣島邦泰, 前田健康, 花田晃治: 歯の移動に伴う parabrachial nucleusにおけるFos蛋白の経時的・空間的発現について, 平成12年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2000. 11. 11, 新潟歯学会雑誌 30(2) 269, 2000
- 12) 山崎由美子, 染矢源治, 前田健康: 神経損傷後の脊髄後角におけるFosタンパク陽性ニューロンの分布, 平成12年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2000. 11. 11, 新潟歯学会雑誌 30(2) 269-270, 2000
- 13) 安島久雄, 河野芳朗, 高木律男, 前田健康: 抜歯による三叉神経節における神経栄養因子とその受容体の経時的変動, 平成12年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2000. 11. 11, 新潟歯学会雑誌 30(2) 270, 2000
- 14) 安島久雄, 河野芳朗, 高木律男, 前田健康: 歯髄組織におけるglial fibrillary acidic protein (GFAP) 免疫反応について, 平成12年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2000. 11. 11, 新潟歯学会雑誌 30(2) 270-271, 2000
- 15) 田村 宏, 大島勇人, 前田健康: 歯根形成に伴うラット臼歯接合上皮における免疫担当細胞の動態について, 平成12年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2000. 11. 11, 新潟歯学会雑誌 30(2) 271, 2000

【研究会発表】

- 1) 大島勇人: 歯牙再植後の歯髄内硬組織形成に関する免疫組織化学的研究, 新潟大学学内研究集会「硬組織・バイオミネラルのつくりと働き」...第8回バイオミネラルゼーション国際研究集会プレシンポジウム, 新潟, 2000. 10. 14
- 2) 大島勇人: 歯牙硬組織形成時のエナメル器・歯髄における低分子熱ショック蛋白Hsp25の発現について, 平成12年度SCS硬組織セミナー(第5回), 新潟, 2000. 11. 14
- 3) 大島勇人, 山本 仁, 前田健康: 歯髄再生過程における低分子熱ショック蛋白Hsp25 発現について, 日本大学松戸歯学部フロンティア研究発表会, 日大会館, 2001. 3. 8-9

【その他】

- 1) 前田健康: 末梢神経学, 九州大学歯学部, 2000. 5. 29-30
- 2) 前田健康: 顎関節の形態, 日本大学松戸歯学部, 2000. 7. 7
- 3) 前田健康: 神経線維の再生, 東京歯科大学, 2000. 10. 13
- 4) 前田健康: 顎関節滑膜の形態, 北海道大学大学院, 2001. 1. 31

口腔生理学講座

【論文】

- 1) Tominaga, K., Yamada, Y. and Fukuda, J.: Changes in chewing pattern after surgically induced disc displacement in the rabbit temporomandibular joint. J. Oral Maxillofac. Surg., 58: 400-405, 2000
- 2) Igarashi, N., Yamamura, K., Yamada, Y. and Kohno, S.: Head movements and neck muscle activities associated with the jaw movement during mastication in the rabbit. Brain Research, 871: 151-155, 2000
- 3) Yoshida, N., Koga, Y., Kobayashi, K., Yamada, Y. and Yoneda, T.: A new method for qualitative and quantitative evaluation of tooth displacement under the application of orthodontic forces using magnetic sensors. Medical Engineering & Physics, 22: 293-300, 2000
- 4) 吉田教明, 古賀義之, 三牧尚史, 小林和英, 山田好秋: 2点3次元変位測定法を用いた荷重時における歯の抵抗中心位の推定. 顎機能誌, 6: 147-152, 2000
- 5) 前新直志, 山田好秋, 磯野信策: タッピングによる吃音者の精神テンポの分析および発話との関係. 音声言語医学, 41(4):352-364, 2000
- 6) 加藤一誠, 河野正司, 新井映子, 林 豊彦, 山田好秋: Videofluorographyの支援による有床義歯補綴治療. 日本補綴歯科学会雑誌, 44(5):625-632, 2000
- 7) 加藤 繁, 林 豊彦, 中村康雄, 山田慎也, 中嶋新一, 小林 博, 山田好秋: 自律顎運動シミュレータJSN/2Bの咀嚼様空口運動における下顎の側方偏位量の検出. 信学技報, MBE2000-92: 53-60, 2000
- 8) 植田耕一郎, 野村修一, 田沢貴弘, 紋谷光徳, 山田好秋: 歯科施設における摂食・嚥下障害に対する(入院, 外来, 在宅, 訪問)リハビリテーションの臨床的検討. 日摂食嚥下リハ会誌, 4(2):55-63, 2000
- 9) 植田耕一郎, 野村修一, 田沢貴弘, 紋谷光徳, 五十嵐敦子, 山村千絵, 山田好秋: 摂食・嚥下障害患者への口蓋床に関する研究 第1報 厚径の違いが嚥下機能に与える影響について. 新潟歯学会誌, 30(2):183-189, 2000
- 10) 北川純一, 真貝富夫, 高橋義弘, 山田好秋: マウスとラットにおける舌咽神経咽頭枝のうま味応答性の比較. 日本味と匂学会誌, 7: 535-538, 2000
- 11) 北川純一, 真貝富夫: 喉越しの美味しさ. 日本味と匂学会誌, 7: 199-202, 2000
- 12) 山田好秋: 顎関節をめぐる痛みの生理. 栃木県歯科医学会誌, 52: 115-120, 2000
- 13) 山田好秋: ブラキシズムの生理学的背景. 顎機能誌, 6: 123-126, 2000

14) 井上 誠, 山田好秋: 食品の物性の違いが顎舌協調運動に与える影響. 顎機能誌, 7(1):37-45, 2001

15) 北川純一, 真貝富夫, 高橋義弘, 山田好秋: 咽喉頭の嚥下誘発神経に関する研究. 顎機能誌, 7(1):47-52, 2001

【著書】

1) 山田好秋, 杉本久美子(分担執筆): はじめて学ぶ歯科口腔介護. 第5章歯科口腔介護のための生理学, 80-94, 医歯薬出版, 東京, 2000

2) 山田好秋(分担執筆): 嚥下リハビリテーションと口腔ケア. 「口から食べる」ということはなぜ大切なのか, 4-9, メヂカルフレンド社, 東京, 2001

【商業誌】

1) 山田好秋: 嚥むことと健康: 口腔運動と脳機能, 麻酔を核とした総合誌 [リサ] Life Support and Anesthesia [LISA], Vol.7 No.8, 766-771, 2000

2) 山田好秋: 摂食・嚥下障害, 別冊the Quintessence 臨床家のための矯正YEAR BOOK 2000, MILLENIUM 記念号 クインテッセンス出版, 伊藤学而, 花田晃治(編) 27-30, 2000

【研究成果報告書】

1) 北川純一: マウスとラットの咽喉頭領域におけるうま味応答性の比較. うま味研究助成第6回成果発表会プログラム・要旨集, うま味研究会

【学術講演・シンポジウム】

1) Yamada, Y.: Central modulation of jaw reflexes. The 3rd International Congress on Orofacial Pain and Temporomandibular Disorders, May13-14, 2000, Seoul, Korea

2) 山田好秋, 山村健介, 高木正道: 嚥下反射誘発における咀嚼中枢ならびに上位脳の影響. 摂食行動の中核メカニズムに関する新展開シンポジウム, 第78回日本生理学会大会, 京都府, 平成13年3月30日, 予稿集, 147, 2001

【学会発表】

1) Kitagawa, J. and Shingai, T.: Responses of pharyngeal taste nerve fibers to fatty acids in rats. 13th International symposium on olfaction and taste (ISOT XIII) July 20-24, 2000, UK.

2) Yao, D. Y., Narita, N., Yamamura, K., Masuda, Y. and Sessle, B. J.: Involvement of face primary motor cortex(MI) in primate semi-automatic movements. November 4, 2000, USA., Abs. Soc. Neurosci. 26: 553,

2000

3) Inoue, M., Nozawa-Inoue, K. and Donga, R.: Sensory afferent and descending input convergences on trigeminal premotor interneurons and their projections in the rabbit. March 21, 2001, UK.

4) 関本智信, 荒井良明, 河野正司, 澤田宏二, 平野秀利, 山田一穂: ガイド役を果たす犬歯の脈動の観察. 平成12年度新潟歯学会第1回例会, 新潟市, 平成12年7月8日, 新潟歯学会雑誌 30(2):255,2000

5) 岡安一郎, 山田好秋, 河野正司, 吉田教明: マウス咀嚼時における下顎運動と咀嚼筋活動. 平成12年度新潟歯学会第1回例会, 新潟市, 平成12年7月8日, 新潟歯学会雑誌 30(2):255,2000

6) 野村章子, 大瀧直子, 新井映子, 山田好秋, 五十嵐敦子, 野村修一, 河野正司, 高橋 肇: 産学連携による口腔機能改善用食品の開発 食品咬断率測定用ゼリーの検討. 平成12年度新潟歯学会第1回例会, 新潟市, 平成12年7月8日, 新潟歯学会雑誌 30(2):256,2000

7) 岡安一郎, 山田好秋, 河野正司, 吉田教明: マウス咀嚼時における下顎運動と咀嚼筋活動. 第42回歯科基礎医学会学術大会ならびに総会, 大阪府, 平成12年9月30日, 歯科基礎医学会雑誌, 42(5):97, 2000

8) Amarasena Jayantha, 大瀧祥子, 山村健介, 平野秀利, 山田好秋: Effect of CMA stimulation on swallowing evoked by stimulation of SLN in anaesthetized rabbits. 第42回歯科基礎医学会学術大会ならびに総会, 大阪府, 平成12年9月30日, 歯科基礎医学会雑誌, 42(5):97, 2000

9) 山村健介, 大瀧祥子, 黒瀬雅之, 山村千絵, 平野秀利, 山田好秋: 三叉神経中脳路核への電気刺激が開口反射に与える影響. 第42回歯科基礎医学会学術大会ならびに総会, 大阪府, 平成12年9月30日, 歯科基礎医学会雑誌, 42(5):132, 2000

10) 梶井友佳, 真貝富夫, 北川純一, 高橋義弘, 田口洋, 山田好秋: ラット咽喉頭の酸味刺激による嚥下誘発効果. 第42回歯科基礎医学会学術大会ならびに総会, 大阪府, 平成12年9月30日, 歯科基礎医学会雑誌, 42(5):134, 2000

11) 福島伸一, 真貝富夫, 北川純一, 高橋義弘, 田口洋, 山田好秋: 嚥下時の喉頭挙上における迷走神経咽頭枝の重要性. 第42回歯科基礎医学会学術大会ならびに総会, 大阪府, 平成12年9月30日, 歯科基礎医学会雑誌, 42(5):139, 2000

12) 小池朋江, 山村健介, 高橋義弘, 新垣 晋, 山田好秋: 緊張性振動反射(TVR)を用いたラット閉口筋興奮性の検討. 第42回歯科基礎医学会学術大会ならびに総会, 大阪府, 平成12年9月30日, 歯科基礎医学会雑誌, 42(5):140, 2000

13) 北川純一, 真貝富夫, 高橋義弘, 山田好秋: マウスとラットにおける舌咽神経咽頭枝のうま味応答性の比較. 日本味と匂学会第34回大会, 奈良, 平成12年10月6日, 日本味と匂学会第34回大会プログラム・予稿集: 77, 2000

14) 饗場広和, 山村健介, 山田好秋, 花田晃治: 咀嚼時末梢感覚が外舌筋活動に及ぼす影響について. 平成12年度新潟歯学会第2回例会, 新潟市, 平成12年11月11日, 新潟歯学会雑誌 30(2):260,2000

15) 高木正道, 山田好秋, 野田 忠: 上喉頭神経誘発性嚥下から見た嚥下中枢・咀嚼中枢・上位中枢の相互作用. 平成12年度新潟歯学会第2回例会, 新潟市, 平成12年11月11日, 新潟歯学会雑誌 30(2):260,2000

16) 小池朋江, 山村健介, 高田佳之, 高橋義弘, 平野秀利, 新垣 晋, 山田好秋: 緊張性振動反射(TVR)を用いたラット閉口筋興奮性の検討. 平成12年度新潟歯学会第2回例会, 新潟市, 平成12年11月11日, 新潟歯学会雑誌 30(2):260-261,2000

17) 平野秀利, 山田好秋: 頭位・姿勢運動記録装置の開発. 平成12年度新潟歯学会第2回例会, 新潟市, 平成12年11月11日, 新潟歯学会雑誌 30(2):266,2000

18) 黒瀬雅之, 山村健介, 野口真紀子, 山田好秋: 閉口筋に与えた痛み刺激が歯髄刺激により誘発される開口反射に及ぼす影響. 第78回日本生理学会大会, 京都府, 平成13年3月30日, 予稿集, 304, 2001

19) 宮岡洋三, 宮岡里美, 山田好秋: 嚥下に関わる感覚評価. 第78回日本生理学会大会, 京都府, 平成13年3月30日, 予稿集, 312, 2001

20) Ariyasinghe Sajjiv, 原澤陽二, 山村健介, 平野秀利, 高橋義弘, 山田好秋: Effect of peripheral sensory input on the styloglossus muscle activity evoked by stimulation of the cortical masticatory area. 第78回日本生理学会大会, 京都府, 平成13年3月30日, 予稿集, 313, 2001

21) 梶井友佳, 真貝富夫, 北川純一, 高橋義弘, 田口洋, 山田好秋: ラット咽喉頭の酸味刺激は嚥下誘発を促進する. 第78回日本生理学会大会, 京都府, 平成13年3月30日, 予稿集, 317, 2001

22) 福島伸一, 真貝富夫, 北川純一, 高橋義弘, 田口洋, 山田好秋: ウサギ上部食道括約部の内圧に關与する筋の神経支配. 第78回日本生理学会大会, 京都府, 平成13年3月30日, 予稿集, 324, 2001

【研究会発表】

1) 真貝富夫: 脂肪の美味しさの味覚機構の解明. 日本学術振興会 未来開拓学術研究推進事業1999年度報告会, 東京, 平成12年4月20, 21日

2) 北川純一: マウスとラットの咽頭領域におけるうま

味応答性の比較. うま味研究会, 東京, 平成12年10月1日

【その他】

1) 山田好秋: 特別公開介護セミナー「家庭で出来る介護術」, 基調講演と基礎学習「長寿社会と口腔ケア」, 2000年5月28日, 8月26日, 浦和ふれあい館他市内公共施設, 特定非営利活動法人エイチ・エイチ・シーホームヘルプクラブ主催

2) 山田好秋: 摂食・嚥下機能とその障害への対応. 2000年10月12日, 東京, 新潟大学地域共同研究センター共同研究「摂食・嚥下障害食の開発」, 亀田製菓

3) 真貝富夫: のどごしのおいしさの感覚評価法. ISS産業科学システムズセミナー, 平成12年12月22日, 私学振興会館, 東京

4) 山村健介, 山田好秋: 顔面・口腔領域に誘発される反射の変調について. 新潟歯学会誌, 30(2):225-226, 2000

5) 山田好秋: 介護に必要な医学的基礎知識. 平成12年度介護保険等対応歯科保健医療推進事業 歯科保健医療従事者研修会, 平成13年1月28日, 東京, 東京都歯科衛生士会

口腔生化学講座

【論文】

1) Ito. M., Amizuka. N., Nakajima. T., Ozawa. H. : Bisphosphonate acts on osteoclasts independent of ruffled borders in osteosclerotic(oc/oc)mice. Bone. Vol.28: in press; 2001.

2) Amizuka. N., Fukushi-Irie. M., Sasaki. T., Oda. K., Ozawa. H. : In efficient function of the signal sequence of PHTrP for targeting into the secretory pathway. Biochem. Biophys. Res. Commun. Vol. 273: 621-629; 2000.

3) Fukushi-Irie. M., Ito. M., Amaya. Y., Amizuka. N., Ozawa. H., Omura. S., Ikehara. Y., Oda. K. : Possible interference between tissue-non-specific alkaline phosphatase with an Arg54-Cys substitution and a counterpart with an Asp277-Ala substitution found in a compound heterozygote associated with severe hypophosphatasia. Biochem. J. Vol. 348: 633-642; 2000.

4) Amizuka. N., Whyte. J. H., Henderson. J. E., Oda. K., Ozawa. H. : The bipartite action of parathyroid hormone(PTH)-related peptide(PTHrP)mediating by binding PTH/PTHrP receptor and translocation to nucleolus. Recent Res. Devel. Endocrinol. Vol.1: 233-245; 2000.

【商業誌】

1) 伊藤将広, 小澤英浩: Bisphosphonatesの作用機序